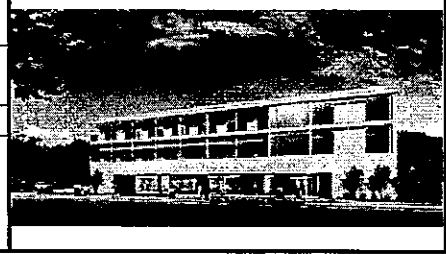


CASBEE® 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)総合老人福祉施設 はぎの里	階数	地上3F
建設地	京都府南丹市園部町横田二号	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	45人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年6月 予定	評価の実施日	2012年11月1日
敷地面積	2,652 m ²	作成者	永野建築設計事務所
建築面積	1,159 m ²	確認日	
延床面積	3,068 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	89%
③上記+②以外の	89%
④上記+	89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

音環境	2.5
温熱環境	2.9
空気質環境	3.4
その他	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	3.3
耐用性	3.0
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9

建物の	2.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.3
地域環境	2.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 高齢者のための「施設」ではなく「住まい」と言う位置づけの建築物である。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 開口の多い開放的な空間	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q3 室外環境(敷地内) 地域交流スペースの設置
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造とし、部材の再利用可能性向上に努めた。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される